連立方程式 1·連立方程式

3 いろいろな連立方程式(その4)

(1/4) ■ 係数が分数の方程式② ■

係数が分数の方程式②通分型

─ ●★解法の技術★の学習のしかた● -

- (1) 下の答案を理解し、「考え方」を覚えましょう。/覚えたら、.....
- (2) 模範解答を見ないで、「理解のチェック」の問題を解いてみましょう。 (答案を見ながら書くと勉強になりません。一度、「考え方」を頭の中に入れることが大切です。)

- ★解法の技術★ -

次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} \frac{\chi+4}{3} = \frac{y-1}{2} & \cdots \\ \chi-2 & y=-9 & \cdots 2 \end{cases}$$

【考え方】①は両辺に、分母の最小公倍数の6をかけて分母を払う。

実際は、すべての項に6をかける。

項とは、**積や商の形をした式**のことです。

[考える手順]

|[答案]

 $(1) \times 6$

1 ①の分母を払い、標準形にする。

$$2(\chi + 4) = 3(y - 1)$$

$$2 \chi + 8 = 3 y - 3$$

◀分配法則で()をはずす

$$2 \chi - 3 y = -11 \cdots (1)'$$

▼標準形(a χ + by = c)にする

2 1つの解を求める

$$-)$$
 2 χ $-$ 4 y $=$ $-$ 1 8

3 他の解を求める

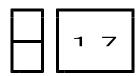
③を②に代入

$$\chi - 2 \times (7) = -9$$
 & ψ , $\chi = 5$

4 答を書く

答 $\chi = 5$, y = 7

4 答を書く



連立方程式 1 · 連立方程式

3 いろいろな連立方程式(その4)

(3/4) ■ 係数が分数の方程式② ■

◇《係数が分数の方程式②/通分形》 学力化 → / ・

次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases}
\frac{3 \times + 2 \times y}{3} + \frac{x}{3} = \cdots \\
\frac{4 \times - 3 \times y}{4} - \frac{1}{4} = 1 \cdots 2
\end{cases}$$

【考え方】多項式は、乗数があるときは()で囲みます。

多項式 $3\chi + 2$ 数×多項式 $3(3\chi + 2)$ ◀大原則!

[考える手順] | [答案]

1 ①, ②のそれぞれ の分母を払う

① ×

- ◀すべての項にかける
- ◆ 分配法則で()をはずす。
- ■標準形(a χ + by = c)にする。
- ◀ すべての項を最大公約数でわる

2 ×

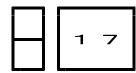
- **▼**すべての項にかける
- ◆ 分配法則で()をはずす
- ◀同類項をまとめる

2 1つの解を求める

◀消去する文字の係数の絶対値をそろえる

(次のページへつづく) /

	【連立方和	望式 N o. 1	7 (3/	(4)] -	〈2枚目/2枚〉
/ (前0	ワページかり	らのつづき)			
3 他の解	解を求める				
4 答を書	<	<u>答</u>			



連立方程式 1·連立方程式

3 いろいろな連立方程式(その4)

(4/4) ■ 係数が分数の方程式② ■

◇《係数が分数の方程式②/通分形》 学力化 → / ・

次の連立方程式を解きなさい。

$$\begin{cases} \frac{\chi - \mathbf{y} - 2}{2} - \frac{y - 2}{2} = 2 & \dots \\ 4 \chi + y = \mathbf{y} & \dots \end{aligned}$$

[考える手順]

[答案]

- 1 ①の分母を払い、標準形にする。
- 2 1つの解を求める

- 3 他の解を求める
- 4 答を書く

攵